

■特別会計の状況【表3】

(単位：千円)

区 分		現計予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険特別会計		1,354,000	520,276	38.4%	585,027	43.2%
老人保健特別会計		8,304	448	5.4%	7,654	92.2%
後期高齢者医療特別会計		144,910	77,476	53.5%	38,383	26.5%
介護保険特別会計		699,597	316,606	45.3%	289,431	41.4%
簡易水道事業特別会計		104,100	60,716	58.3%	34,358	33.0%
公共下水道事業特別会計		393,300	175,509	44.6%	188,365	47.9%
農業集落排水事業特別会計		76,600	33,804	44.1%	36,214	47.3%
水道事業会計	収益的収入	261,778	127,486	48.7%	—	—
	収益的支出	232,586	—	—	51,900	22.3%
	資本的収入	12,884	2,685	20.8%	—	—
	資本的支出	159,041	—	—	20,842	13.1%

■基金の状況【表4】

(単位：千円)

基金名	21年9月30日現在
財政調整基金	693,890
高額療養費貸付基金	3,226
土地開発基金	294,000
国民健康保険基金	183,844
養護老人ホーム福祉事業基金	209
減債基金	74,247
杉原千畝記念基金	7,297
新丸山ダム対策基金	59,164
地域福祉基金	220,311
ふるさと水と土基金	10,129
吉田茂国際交流基金	82,286
明日のまちづくり基金	648,192
介護給付費準備基金	116,119
介護従事者処遇改善基金	6,691
合 計	2,399,605

※町民1人当たり約18万9千円【9月末現在】

■町債と基金

道路や下水道など、生活基盤の整備には一度に多額の費用が必要となります。町債は、こうした公共施設整備のために県知事の同意を得たうえで、国や金融機関から借り入れできる町の資金です。

町債は目的(用途)別に分けられ、学校建設の町債であれば教育債、町道整備のための町債であれば土木債となります。

今年9月末の町債元金残高(右表)は、一般会計・特別会計合わせて91億8,045万円となり、町民1人当たり(平成21年9月末現在人口12,715人)に換算すると約72万2千円となります。

一方、家計の貯金にあたるのが町の基金です。基金には、財源不足を補う財政調整基金や町の借金返済に充てられる減債基金、ある特定の事業に使われる特定目的基金があり、9月末現在の基金の積立額は約24億円で町民1人当たりでは約18万9千円となります。

■町債の借入状況 現在高：91億8,045万円

※町民1人当たり約72万2千円【9月末現在】(昨年度は75万5千円)

